

令和6年度 檜山地区の研究活動

研修部長 せたな町立北檜山小学校

校長 松村 浩良

1 はじめに

檜山校長会は、管内7町の小学校17校、中学校10校で構成されている。今年度は、第13次3か年研究（令和5～7年度）2年次として、檜山校長会教育研究厚沢部大会を開催した。檜山校長会と各町校長会の組織的、継続的な共同研究体制を強化し、各学校、各町校長会での教育推進に努めている。

なお、これまでコロナ感染症対策等のため日程や内容を変更した年度があったが、令和4年度以降は2日間の日程で実施している。



◇檜山校長会教育研究厚沢部大会◇

2 研究計画

(1) 研究主題

「ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成」

～社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域とともに歩む学校づくりの推進～

(2) 分科会・研究課題・研究の視点一覧

分科会	研究課題	研究の視点	担当町
		キーワード	
学校経営	○組織マネジメントを生かした学校経営と校長の在り方	① 経営ビジョンの浸透を図る学校経営 経営理念、学校評価、校長のリーダーシップ等	上ノ国 厚沢部 せたな
		② 組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営 経営参画意識の向上、学校職員人事評価制度等	
		③ 家庭・地域社会・異校種等との連携を図る学校経営 説明責任、結果責任、地域に根ざした教育活動等	
教育課題	○教育を取り巻く多様な課題への適切な対応と校長の在り方	① 豊かな学びを実現する教育課程に関する教育課題 授業改善、カリキュラム・マネジメント等	江差 乙部 奥尻 今金
		② 豊かな人間性と感性を育む教育課程に関する教育課題 特色ある教育活動、体験的な活動、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳教育、キャリア教育等	
		③ 子どもの安全・安心のための危機管理に関する教育課題 いじめ等問題行動対応、不登校・登校しぶり対応 安全教育、防災教育、情報モラル教育等	

(3) 研究方法

研究は3か年計画とし、「学校経営」「教育課題」の2分科会として、各町校長会は組織的・継続的な共同研究を推進している。

3 研究活動

檜山校長会教育研究厚沢部大会の概要

【研究主題】 ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成
～社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域とともに歩む学校づくりの推進～

○ 期 日 令和6年10月4日（金）5日（土）

<1日目> 10月4日（金）（9：30～16：30）

① 講話 講話 「最近の経済社会情勢について」

講 師 北海道教育庁檜山教育局長 藤嶋 泰道 様

② 分科会協議

◇第1分科会【学校経営】

提言題 「組織の活性化と教職員の資質向上を図る組織マネジメントと校長の在り方」

提言者 せたな町立瀬棚小学校長 越前 秀一

◇第2分科会【教育課題】

提言題 「確かな学力の向上を目指す教育課程編成と校長の在り方」

～ICTを生かした授業改善・実態や特色を生かしたカリキュラム・マネジメント～

提言者 江差町立南が丘小学校長 安田 善紀

③ 北海道小学校長会研究大会 空知・岩見沢大会 第9分科会提言発表

研究課題 命を守る安全教育・防災教育の推進と校長の在り方

研究の視点 変化し、改善し続ける安全教育、防災教育の推進と校長の在り方

提言者 奥尻町立青苗小学校長 黒川 貴功

④ 全体会

○役員代表挨拶及び情勢報告 北海道小学校長会事務局次長 丹野 靖彦 氏

○質問事項への回答 北海道小学校長会対策部幹事 里館 大 氏

北海道中学校長会情報部幹事 宮本 真基 氏

<2日目> 10月5日（土）（9：00～11：30）

① 小・中部会

○協議 今日的教育課題に係る協議・実践交流

◇小学校部会 ・災害時における校長の判断

・地域と学校（校長）の関わり

◇中学校部会 ・部活動の在り方に関する方針の檜山管内での運用

・働き方改革（在宅勤務）

・学校間交流（ICT活用）

4 おわりに

今年度は第13次3か年研究の2年次となり、各分科会の提言発表に関連した意見交流や助言を基に、自校の学校経営に生かすことを重視している。今後も、檜山校長会の強みである少数精鋭、小中学校合同の校長会であることを生かし、各町校長会と一層連携し、職能向上に努めたい。なお、今年度は道小空知・岩見沢大会において提言発表「変化し、改善し続ける安全教育、防災教育の推進と校長の在り方」を行った。令和7年度には、道小根室大会において提言「学校安全」を担当することとなっており、その推進に努める。